

北海道型IR道民フォーラム ーカジノを含む統合型リゾート(IR)を考えるー

現在、国会で審議されている特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案において、特定複合観光施設（いわゆるIR(Integrated Resort)）は、「カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの」と規定されていますが、IRは、観光振興、地域経済の活性化、雇用の創出などの効果が期待できる一方で、治安の悪化やギャンブル依存症など負の側面についても様々な議論があります。こうしたことから、道では、IR導入に向けた国の動向や本道において複数地域で誘致に向けた検討が行われていることなどを踏まえ、この度、IRに関する諸外国の事例や北海道におけるIRを検討するに当たっての課題や留意点などについて、情報提供を行い道民の皆様へIRへの理解を深めるためのフォーラムを道内6圏域で開催いたします。

▶開催日時・会場

平成26年11月18日（火）13:30～15:40

小樽経済センタービル 7F大ホール 小樽市稲穂2丁目22番1号

▶主催 北海道 共催 小樽市

▶プログラム

1. 開会 主催者あいさつ等
・北海道経済部観光局 ・小樽市
2. 報告① わが国に蔓延する「ギャンブル依存症」の現状
【講師】北海道立精神保健福祉センター所長/全国精神保健福祉センター長会会長 田辺 等（たなべひとし）氏
【講師のプロフィール】
1977年 北海道大学卒業。北大病院、北海道立緑ヶ丘病院で統合失調症の長期在院者の社会復帰、アルコール依存症の治療などに従事。
1990年 北海道立精神保健福祉センター部長 カウンセリングや集団療法に従事。
2005年 同センター所長（北海道大学医学部非常勤講師）
学会等：第22回日本集団精神療法学会大会長（2005）、第56回日本・病院地域精神医学会大会長（2013）
厚生労働省、法務省等の精神障害者対策、依存症対策の検討委員として従事
3. 報告② 「IRとは何か～北海道型IRの可能性と留意点」
【講師】(株)国際カジノ研究所 所長 木曾 崇（きそ たかし）氏
【講師のプロフィール】
ネバダ大学ラスベガス校ホテル経営学部首席卒業（カジノ経営学専攻）。米国大手カジノ事業者での会計監査職を経て、帰国。2004年、エンタテインメントビジネス総合研究所へ入社し、翌2005年には早稲田大学アミューズメント総合研究所へ一部出向。2011年に国際カジノ研究所を設立し、所長に就任。2014年よりアジア圏最大のカジノ国際会議&展示会であるGlobal Gaming Expo Asiaのアドバイザーボード委員を務める。
4. 質疑応答